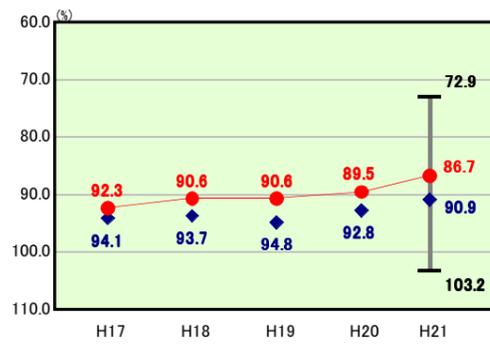


# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

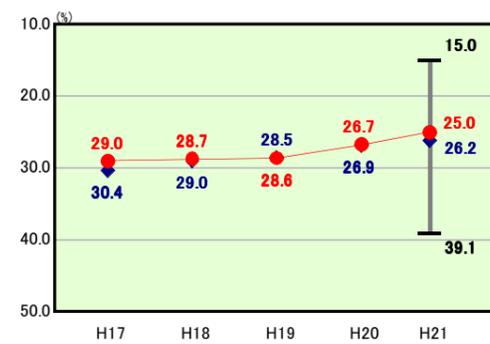
経常収支比率(合計)



● 当該団体値  
◆ 類似団体平均  
— 類似団体内の最大値及び最小値

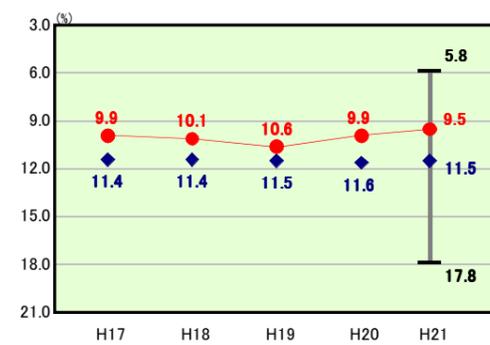
H21類似団体内順位 23/128  
全国市町村平均 91.8  
北海道市町村平均 91.2

人件費



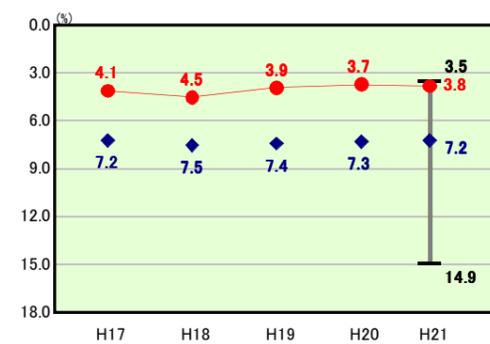
H21類似団体内順位 46/128  
全国市町村平均 26.7  
北海道市町村平均 24.1

物件費



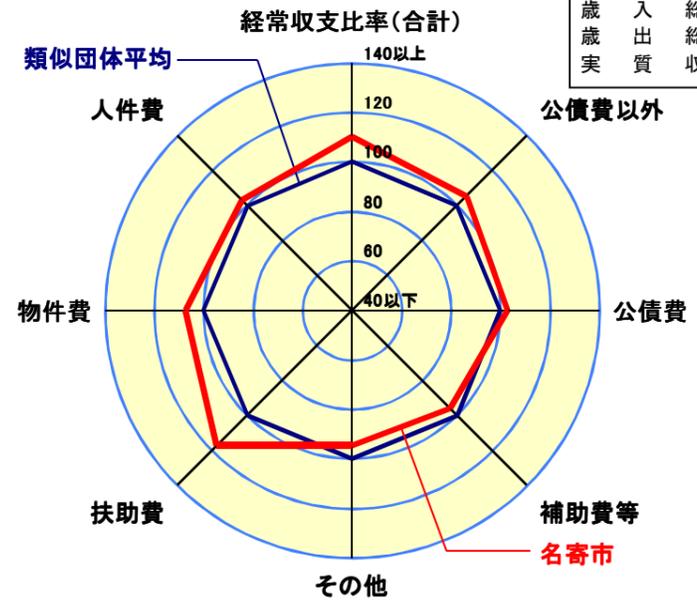
H21類似団体内順位 37/128  
全国市町村平均 13.0  
北海道市町村平均 11.3

扶助費



H21類似団体内順位 3/128  
全国市町村平均 9.6  
北海道市町村平均 9.1

人口	30,608人(H22.3.31現在)
面積	535.23km <sup>2</sup>
標準財政規模	11,644,312千円
歳入総額	21,246,010千円
歳出総額	20,763,932千円
実質収支	408,229千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**【人件費】**  
給与の独自削減の実施や人員削減などにより、年々経常収支比率は低下しています。職員数及び人件費総額は減少傾向にあり、類似団体平均と比較してもやや低い比率となっています。今後も新・名寄市行財政改革推進計画に基づいた適正な定員管理を行い、人件費の削減につとめていきます。

**【物件費】**  
類似団体と比較すると、物件費にかかわる経常収支比率は低くなっており、経常経費の削減を行っている効果があらわれてきています。今後も物件費の抑制につとめます。

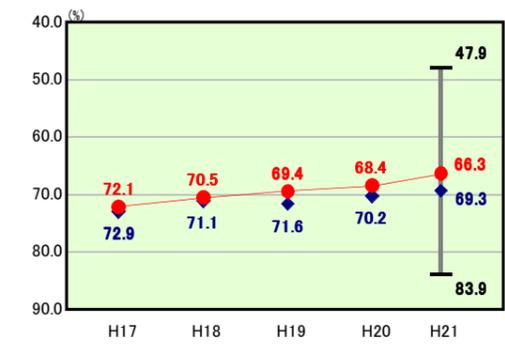
**【扶助費】**  
類似団体と比較して3.4ポイント低い3.8ポイントとなっています。要因として、生活保護率が類似団体より低いことにより、生活保護費が抑えられていることがあげられます。

**【公債費】**  
類似団体と比較して若干低い水準で推移していますが、今後も財政運営の健全化・地方債管理の適正化につとめていきます。

**【補助費等】**  
行財政推進計画に基づき、補助金等の廃止・見直しを進めた結果が徐々にあらわれてきています。引き続き、より適正な補助金等の交付を図ります。

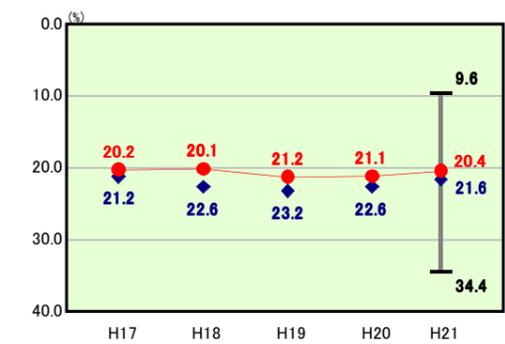
**【普通建設事業】**  
普通建設事業については、国の補正予算に伴う景気浮揚対策、合併に伴う合併特例事業等により増加しています。今後も数年間は合併特例事業の実施が見込まれていますが、特例期間終了に合わせて減少していく見込みです。

公債費以外



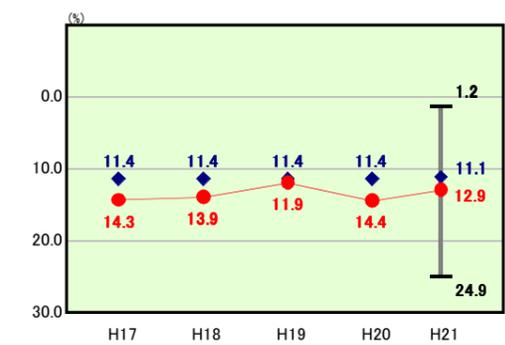
H21類似団体内順位 30/128  
全国市町村平均 71.9  
北海道市町村平均 68.5

公債費



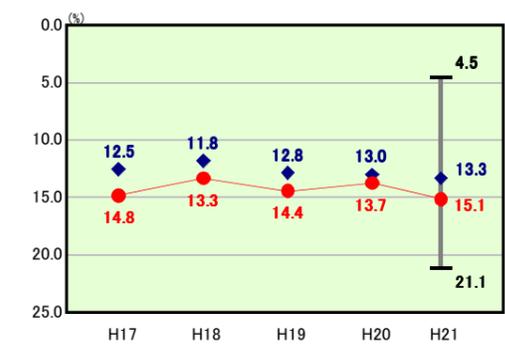
H21類似団体内順位 62/128  
全国市町村平均 19.9  
北海道市町村平均 22.7

補助費等



H21類似団体内順位 77/128  
全国市町村平均 10.5  
北海道市町村平均 12.0

その他



H21類似団体内順位 88/128  
全国市町村平均 12.1  
北海道市町村平均 12.0